

## 自己多血小板血漿 (PRP) を用いた変形性関節症治療について

### (1) 提供される再生医療等の内容

本療法は、患者様から採取した血液より、血小板を多く含む血漿である多血小板血漿 (PRP) を採取し、患者様の関節腔内へ注射することで変形性関節症の治療を行います。血小板には、出血した際に血液を止めるはたらきのほか、コラーゲン合成や組織修復、創傷治癒などのはたらきがあることが分かっています。

この治療では、患者様の腕から 40 ml 採血をし、血液を遠心分離することで PRP を採取し、関節に注射を行います。

### (2) 当該再生医療等の実施により予期される効果及び危険

血小板には出血した際に血液を止めるはたらきだけでなく、血小板から放出される成長因子のはたらきにより、コラーゲン合成や組織修復、創傷治癒などのはたらきがあることが分かっています。このはたらきにより、関節痛低減などの変形性関節症の改善効果が期待できます。

一方で、本療法を行うにあたって、以下の副作用が起こる可能性があります。

- ・ 静脈血採血による合併症はきわめてまれですが、失神、吐き気、静脈炎、内出血斑、神経損傷を起こす可能性があります。
- ・ PRP 注入部位に一時的に熱感または赤み、腫れや内出血が起こる可能性があります。

### (3) 他の治療法の有無、内容、他の治療法により予期される効果及び危険との比較

通常、変形性関節症の治療には、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID) を用いた薬物治療や、ヒアルロン酸やステロイドなどの薬を関節内に注射することで、関節の機能を改善したり、炎症や痛みをやわらげたりする治療が行われていますが、薬の副作用や耐性、異物反応等の問題があります。一方、PRP は、患者様自身の血液から採取した血小板を用いて治療を行うため、異物反応や感染などのリスクが少なく、また、ヒアルロン酸注射等より効果が持続するのが特徴です。

### (4) 再生医療等を受けることを拒否することは任意です。

### (5) 再生医療等を受けることを拒否すること又は同意を撤回することにより不利益な取扱いを受けません。

### (6) 一旦同意された場合でも、血液の採取を行う前であれば、同意の撤回が可能です。

### (7) 再生医療等を受ける者の個人情報の保護に関する事項

患者様の個人情報については、当院の個人情報取扱実施規定にしたがいます。なお、当院の PRP 治療に関するデータは、診療、診断、治療に加えて、個人の特定されないような形で学会、臨床研究等において使用する場合があります。なお、患者様およびご家族は、医師への申し出によってこれらのデータを閲覧し、説明を受けることができます。

### (8) 当該再生医療等の実施に係る費用に関する事項

PRP 2mL~6mL 55,000 円~160,000 円 (税別)

私は、クリニック チクサヒルズで受ける PRP 療法について十分な説明を受けました。  
この説明により、クリニックで施行する PRP 療法について理解できましたので、同意し  
ます。なお、治療中に緊急処置を行なう必要が生じた場合は、適宜施行されることにも同  
意します。

平成 年 月 日

患者氏名： \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ (署名のみでも可)

住所：〒 \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_ 携帯電話： \_\_\_\_\_